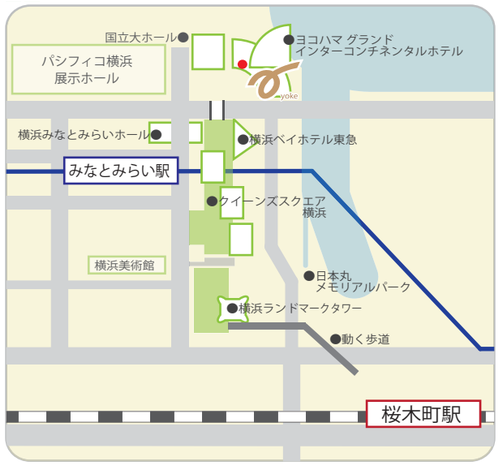
事業のご案内

「私たちは、国際都市横浜の歴史的・文化的特性を継承しつつ、
異なる文化や価値観をともに認め、尊重し合える豊かな社会づくりを目指します。」

公益財団法人 横浜市国際交流協会
YOKOHAMA ASSOCIATION FOR INTERNATIONAL COMMUNICATIONS AND EXCHANGES (YOKE)

アクセス



みなとみらい線「みなとみらい駅」下車 徒歩 5 分
JR・市営地下鉄「桜木町駅」下車 徒歩 15 分

YOKE の事業へ寄付をお願いいたします。

1,000 円／ 1 口以上、金額は自由です。随時受付けています。
支援する事業を指定することができ、3,000 円以上の寄付くださった方は当協会のニュースレターを 1 年間送付いたします。
詳細は、当協会へお問合せください。

当協会は「特定公益増進法人」の認定を受けています。
法人または個人が寄付をした場合には、税法上の優遇措置を受けることができます。

＜表紙イラスト協力＞
岩崎学園横浜デジタルアーツ専門学校　諸星 咲良 さん

公益財団法人 横浜市国際交流協会（YOKE）
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1　パシフィコ横浜　横浜国際協力センター 5F
TEL 045-222-1171（代表）　FAX 045-222-1187
http://yoke.or.jp

YOKE 文書 No. 1- 34
2015 年 7 月 1 日

公益財団法人 横浜市国際交流協会（YOKE) は、外国人が暮らしやすく社会参画しやすいまちづくりに向け「多文化共生のまちづくり」「人材の育成・市民活動の支援」「国際協力の推進」事業を市民とともに進めている横浜市の外郭団体です。

YOKE ミッション・ステートメント （2001 年策定）

私たちは、国際都市横浜の歴史的・文化的特性を継承しつつ、
異なる文化や価値観をともに認め、尊重し合える豊かな社会づくりを目指します。

YOKE 中期計画 (2014 年度～ 2017 年度)

「日本人と外国人がともに力を発揮できる多文化共生の横浜」の実現を目指し、次の２つを柱に掲げています。
「多文化共生のまちづくり」「グローバル人材の育成」

多文化共生のまちづくり P3 ～ P4

1. 国際交流ラウンジ連携事業
2. 国際交流ラウンジ運営事業
3. 日本語支援事業
4. 多言語情報発信事業
5. 多言語サポーター派遣事業
6. 在住外国人の災害時対応事業

人材の育成・市民活動の支援 P5

1. 国際理解事業
2. 国際交流情報提供・相談事業
3. 国際協力・交流プラットフォーム事業
4. 海外介護人材支援事業

国際協力の推進 P6

1. 国際協力センター運営事業
2. 横浜市国際学生会館運営事業

YOKE 概要

理事長	岡田　輝彦
所在地	横浜市西区みなとみらい 1-1-1　パシフィコ横浜　横浜国際協力センター 5 階
沿革	昭和 56(1981) 年 7 月 8 日 任意団体「横浜市海外交流協会」として設立
	昭和 57(1982) 年 12 月 28 日 財団法人認可
	平成 5(1993) 年 3 月 30 日 特定公益増進法人認定
	平成 11(1999) 年 4 月 1 日 「横浜市国際交流協会」に名称変更
	平成 16(2004) 年 6 月 13 日 中区山下町 2 産業貿易センターから現在地に事務所移転
	平成 22(2010) 年 11 月 1 日 公益財団法人へ移行登記
基本財産	476,943,972 円

「YOKE」の愛称について

「YOKE」とは、協会の英文名の中から YOKOHAMA の "YOK" と EXCHANGES の "E" を合成してつけた愛称です。横浜市と世界との "きずな" を強くしてゆこうという気持ちで、「ヨーク」と呼んでください。

シンボルマークの意味

「YOKE」のシンボルマークは英語の C にあたるギリシャ文字 γ（ガンマ）が原型となっており、C はコミュニケーション、また、γ は横浜の頭文字 Y にも通じ、横浜と世界の情報の円滑な流れ、そして緊密かつ、積極的な相互交流の推進の希いを表しています。（昭和 52（1982）年 1 月制定）

yoke

YOKE みなとみらい事務所

電話番号	045-222-1171　（代表）
FAX 番号	045-222-1187
対応時間	平日　8：45 ～ 17：30
休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始

YOKE 情報・相談コーナー

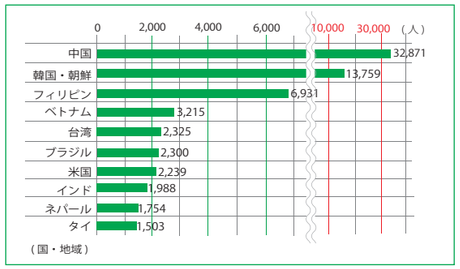
電話番号	045-222-1209
FAX 番号	045-222-1187
対応時間	平日 10：00 ～ 11：30・12：30 ～ 16：30 第 2・4 土曜日 10：00 ～ 12：30
対応言語	英語　月・火・水・木・金　第 4 土 中国語　月・火・水・木・金　第 2 土 スペイン語　月・火・水・木・金　第 2・4 土
休日	第 1・5 土曜日、日曜日、祝日、年末年始

http://www.yoke.or.jp

横浜市の外国人人口は 79,844 人で、約 150 か国地域の人々が暮らしています。
市民の約 2.1%が外国人です。（2015 年 5 月末現在）

横浜市の外国人人口

国籍・地域別　人数上位 10 か国地域　（2015 年 5 月末現在）
参考：横浜市ポータルサイト



横浜市の外国人人口の推移 （各年 7 月末現在）

参考：横浜市ポータルサイト

≪参考≫横浜市の取組み

平成 25 年度 横浜市外国人意識調査

横浜市は、外国人市民の課題やニーズを把握する「外国人意識調査」を平成 25（2013）年度に行い、報告書を平成 26（2014）年 3 月に公表しました。

困っていることや心配なこと （報告書より）

1 位　日本語の不自由さ （24.7%）
2 位　仕事探し （16.7%）
3 位　病院・診療所に外国語のできる人がいない （14.4%）

詳しくは･･･ 平成 25 年度 横浜市外国人意識調査　検索
http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/kokusai/coexistence/chosa/

横浜市中期 4 か年計画 （2014 ～ 2017）

「国際交流・多文化共生の推進」が施策に盛り込まれています。

「『あらゆる人が力を発揮できるまちづくり』戦略」

戦略 1
施策 21
「グローバル都市横浜の実現」に向けた主な取組み事業 （抜粋）
・国際機関等との連携・協力・支援
・世界を目指す若者支援の取組
・多文化共生の取組

横浜市中期 4 か年計画　検索
詳しくは･･･ http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/seisaku/newplan/

ヨコハマ国際まちづくり指針
～国際性豊かなまちづくりを目指して～

横浜市は、平成 19（2007）年 3 月に「ヨコハマ国際まちづくり指針」を制定し、外国人が住みやすいまち・訪れたいまちづくりを推進しています。

3『外国人が住みやすいまち』とは

"横浜市内で生活する外国人が、安心して暮らすことができる環境を有するまち"
そのためには、行政や国際交流団体等が行う外国人市民向けの各種サービスの充実はもとより、近隣に住む市民一人ひとりが、外国人市民に対し地域の構成員として接し、困った時に温かい手を差し伸べる風土づくりが必要です。
（指針より）

詳しくは･･･ ヨコハマ国際まちづくり指針　検索
http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/kokusai/coexistence/machiiinkai/machisisin/

横浜市多言語広報指針

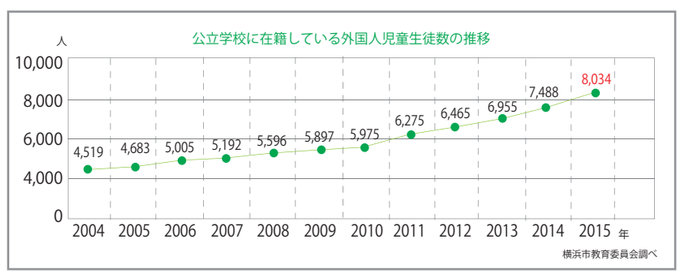
横浜市は、平成 22（2010）年 7 月に「横浜市多言語広報指針」を制定し、外国人市民等に対して、横浜市が情報提供を行う基準を定めています。

4　言語

(1) 外国語
英語、中国語（繁体字、簡体字）、ハングル、スペイン語、ポルトガル語による情報提供を基本とする。
(5) 表現方法
多言語による広報を行うにあたっては、日本語の広報（日本人向け広報）と同一内容であっても理解されないことがあるため、文化の異なる外国人の視点に立った作成を心がけるとともに、人権にも十分配慮する。　（指針より）

詳しくは･･･ 横浜市多言語広報指針　検索
http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/koho/foreign/

外国籍および外国につながる子どもたち



横浜市内の公立小中学校に在籍している「外国につながる子どもたち」は、8,034 人で、その内日本語の指導が必要な児童生徒は、1,538 人と全体の 19% を占めています。(2015 年 6 月 25 日現在)

多文化共生のまちづくり

1.　国際交流ラウンジ連携事業

多言語相談窓口の運営
11 国際交流ラウンジ間の連携

ことばでつなぐ
明日の笑顔（あした えがお）
ＹＯＫＥ 情報・相談コーナー
ＹＯＫＥ Information Corner

概　要　多言語相談窓口 を設置し、様々な生活相談に対応しています。市内 11 カ所の地域拠点（国際交流ラウンジ / コーナー等）と連携し、横浜市の多文化共生を推進しています。

主な事業

- YOKE 情報・相談コーナー（英語・中国語・スペイン語）の運営
- 通訳つき無料専門相談（行政書士・教育・法律・社労士相談）
- 国際交流ラウンジ協議会の運営（連絡会・テーマ別分科会）
- 多文化共生ワークショップ（出張講座）の実施

実　績

- 相談件数 5,156 件
- 国際交流ラウンジ協議会連絡会等　計 15 回実施

2.　国際交流ラウンジ運営事業

なか国際交流ラウンジ（中区）
みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ（南区）
鶴見国際交流ラウンジ（鶴見区）

地域の多文化共生の拠点
多言語対応で外国人住民をサポート

概　要　市内で外国人登録者数が多い区である中区（1 位）、鶴見区（2 位）、南区（3 位）の 3 区から委託を受け、日本人と外国人が共に暮らす共生のまちづくりに向け、国際交流ラウンジの運営を行っています。

主な事業

- 外国人住民への多言語での生活情報の提供
- 日本語学習支援（日本語教室、ボランティア講座の開催等）
  外国にルーツを持つ子どもたちのための学習支援教室の開催※
- 多文化交流イベントの実施
- 通訳の派遣等

実　績

- **外国人相談窓口対応**
  なか　1,898 件、　みなみ　1,981 件、　鶴見　2,002 件
- **※外国にルーツを持つ子どもたちのための学習支援教室**
  学習者
  なか　45 人、　みなみ　25 人、　鶴見　78 人
  サポーター
  なか　45 人、　みなみ　23 人、　鶴見　140 人
- **外国人親子カンガルーサロン**　外国人親子 20 組（鶴見）

3.　日本語学習支援事業

横浜における日本語学習支援の
リソースセンターを目指して

概　要　地域日本語教室等と連携しつつ、日本語を学びたい外国人に学習機会を提供します。また、研修、多言語での生活情報提供、支援者間のネットワーク構築など、日本語支援を通じて多文化共生のまちづくりに寄与します。地域日本語教室等とのネットワーク構築等を行っています。

主な事業

- YOKE 日本語教室の開催
- 日本語教室での教室活動例の公開（教材例集発行など）
- 日本語ボランティア研修会の実施（入門、スキルアップなど）
- 日本語教室間のネットワーク（データベース公開、事例発表会等）

実　績

- 日本語教室学習者数　延べ 955 人
- 日本語教室データベース（横浜）掲載教室数 109 教室

4.　多言語情報発信事業

一部受託事業

外国人が「わかる」「行動できる」情報を
共に考えお届けします

概　要　外国人が母語による生活情報を定期的に得ることができる環境づくりを推進し、WEB での情報提供を 8 言語で行っています。文化背景や生活習慣がわからない外国人が理解できる情報提供を外国人と共に考えます。

主な事業

- 多言語生活情報「よこはま yokohama」の発信　（毎月 5 日発信）
- ホームページでの多言語情報発信
- 外国人の生活に有益な情報の多言語翻訳等のサポート

実　績

「よこはま yokohama」英語、中国語簡体字、中国語繁体字、ハングル、スペイン語、ポルトガル語、インドネシア語、ベトナム語、やさしい日本語

5. 多言語サポーター派遣事業

一部受託事業

日本語の不自由な外国人等の
言葉のサポートを行います

概　要　市内 8 カ所の国際交流ラウンジ等と共同実施している「横浜市通訳ボランティア派遣事業」では日本語の困難な外国人が横浜市の公共の窓口等を利用する時にボランティアの通訳を無料で派遣しています。

主な事業

- 主な派遣先：横浜市立小中学校、区役所、児童相談所　等
- 主な派遣内容：教員と外国人保護者との 2 者面談、乳幼児健診　等
- 主な派遣言語：中国語、英語、スペイン語、タガログ語　等

実　績

- 派遣実績　1,728 件
- 登録ボランティア数　613 人（2015 年 4 月 1 日現在）
- 録言語数　34 言語（2015 年 4 月 1 日現在）

6. 在住外国人の災害時対応事業

いざそのとき、
外国人が「災害弱者」とならないために

概　要　震災時に外国人住民への情報提供が進むよう、横浜市との協定を軸に、関係機関・ボランティアと協力した体制の充実を図っています。また、外国人自身が災害に備えられるよう、訓練や意識啓発、情報提供等を行います。

主な事業

- 横浜市外国人震災時情報センター運営に向けた準備・訓練
- 震災時語学ボランティアの登録・研修
- 防災意識の啓発（防災訓練、研修会、イベント出展等）
- 外国人支援ネットワークの構築（国際交流協会間の連携等）
- 災害に備えるための資料・リンク集（YOKE ホームページ）

実　績

- 「外国人震災時情報センター設置・運営に関する協定」を横浜市と締結
- 日本語教室における訓練（119 通報、AED、避難等）
- 震災時語学ボランティア登録者 11 言語のべ 76 人

1.　国際理解事業

みなとみらいで、語学講座。
アットホームな雰囲気が人気です！

概　要　さまざまな文化や国の事、そこで暮らす人々の事などに触れながら、コミュニケーション力を身につけます。講師自らのさまざまな経験を取り入れたレッスンで、異文化理解の機会ともなります。

主な事業

・英会話講座（定員 13 名）
　通年コース 初級・準中級、ディスカッションコース中級

・スペイン語講座（定員 13 名）
　通年コース 初級 II・準中級

実　績

・講座数 18 講座
・期間 前期 4 ～ 9 月 (9 講座)、後期 10 ～ 3 月（9 講座）
・参加者数 延べ 3,780 人

2.　国際交流情報提供・相談事業

YOKE の情報・多文化共生情報提供で
市民の活動を支援

概　要　YOKE の事業や外国人の生活に役立つ情報を各媒体を通して提供し、市民の多文化共生への取組みを支援します。また、多文化共生の研修・イベント等の企画など、行政機関及び関連機関からの様々な相談に対応します。

主な事業

・YOKE ホームページ　訪問者数 15,853 人 （2015 年 3 月）
・YOKE FB ページへの「いいね！」1,164 件 （2015 年 3 月）
・ホームページでの紹介団体　約 100 団体 （2015 年 3 月）
・「よろず相談」件数 15 件

実　績

・広報紙「ヨークピア」発行（毎月 5 日）
・ホームページ、Facebook ページ、メーリングリスト運営
・市内の多文化共生支援等団体をホームページで紹介
・「よろず相談」窓口で、行政機関や民間団体等からの相談対応

3.　よこはま国際協力・交流プラットフォーム事業

国際協力・多文化共生を文化とする
横浜のまちづくりをめざして

Yokohama Cplat

概　要　よこはま C プラットの一員として、横浜および周辺地域の NGO/NPO、国際機関、行政、学校など多様な団体が参加するイベント「よこはま国際フェスタ」「よこはま国際フォーラム」を実施しています。

主な事業

・「よこはま国際フェスタ」の開催
・「よこはま国際フォーラム」の開催
・キャンペーン事業の実施

実　績

・「よこはま国際フェスタ 2014」
　来場者数 46,000 人、参加団体ブース数 104 団体
・「よこはま国際フォーラム 2015」
　講座参加者数：のべ 1,693 人、参加団体数 49 団体、　講座数 54 講座

4.　海外介護人材支援事業

受託事業

経済連携協定（EPA）で来浜した
介護福祉士候補者等の支援

概　要　経済連携協定（EPA）でインドネシア・フィリピン・ベトナムから来浜した介護福祉士候補者及び看護師候補者の方々への支援の一環として、候補者と受入施設等関係者も含めた交流を実施しています。（横浜市受託事業）

主な事業　・EPA 歓迎交流会

実　績　・EPA歓迎交流会年2回実施

1.　国際協力センター運営事業

一部受託事業

国際機関の活動支援と
グローバルに行動できる青少年の人材育成

概　要　「横浜国際協力センター」に入居する国際機関※への活動支援を行っています。また、地球的規模の課題に取り組む国際機関の活動を知り・学び・行動につなげる「地球市民プログラム」を通じた人材育成を図っています。

＊入居機関 （2015 年 3 月現在）

主な事業

・横浜国際協力センターの施設管理、入居国際機関の支援
・『国際機関実務体験プログラム』国際機関でのインターンシップ
・『地球市民講座～訪ねよう！国際機関』事務所見学・セミナー
・『夏休み！地球市民講座』体験型ワークショップ、キャリア懇談
・『OVER100』（インターン修了生の自主組織）との共同事業

実　績

・『国際機関実務体験プログラム』夏期・春期、年 2 回実施
　参加者 15 人、協力 7 機関・4 大学
　事業開始 2004 年度からの修了者 133 人（2015 年 3 月末時点）
・『地球市民講座～訪ねよう！国際機関』
　参加者 115 人、協力 5 機関、5 講座
・「夏休み！地球市民講座」
　参加者 220 人、協力 4 機関等、6 講座

2.　横浜市国際学生会館運営事業

指定管理業務

所在地：鶴見区本町通 4-171-23 潮田交流プラザ内
施設概要：居室 115 室、ホール、研修室、図書室等

私たちは、横浜と世界をつなぐ
心のかけ橋をつくります。

概　要　横浜市が設立した外国人留学生・研究者等のための宿泊施設で、YOKE が指定管理者として管理・運営しています。留学生支援事業のほか、留学生と市民とのさまざまな交流事業も行っています。

主な事業

・国際理解事業（出前授業、語学 / 文化講座、研究発表・交流会等）
・地域貢献事業（地域イベントへの参加、行政施策への協力）
・留学生支援事業（日本語家庭教師の紹介、就職セミナー等）
・広報事業（「よこはま地球村」の発行、HP による情報発信）

実　績

・設立 平成 6（1994）年（2014 年に創立 20 周年を迎えました。）
・受入留学生のべ人数　73 の国・地域から約 1,500 人

－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－

・留学生の出前授業（小・中・高校）受講人数　約 3,000 人
・語学 / 文化講座、研究発表・交流会等の開催 28 回
・留学生への日本語チューター紹介 41 件

外国人当事者、支援者などの声

みんなと過ごした時間が好きでした。（A さん　YOKE 日本語教室学習者）

基礎的な日本語のコミュニケーションが上達しました。（B さん　YOKE 日本語教室学習者）

（119 通報を体験して）今回シミュレーションをやったので、何を聞かれるかが予測できます。
（C さん　YOKE 日本語教室学習者）

サポーターの先生方は、とても優しい。いつも自分のことをサポートしてくれるので感謝しています。
（D さん　外国につながる子どもたちの学習支援学習者）

自分が解らないところを指導してくれるので、学校での勉強が理解できるようになった。
（E さん　外国につながる子どもたちの学習支援学習者）

役立つ情報や楽しい情報イベントをわかりやすく伝えたい。
（F さん、G さん　多言語情報「よこはま yokohama」編集者）